

瀬田町会の60年

平成20年5月

発刊にあたって	2
祝発刊	3
瀬田町会史	4
瀬田町会あれこれ	22
屋号と由来	24
瀬田町会歴代会長	25
写真に見る瀬田町会	26
編集後記	32



瀬田町会長
白井常祥

発刊にあたって

本年瀬田町会60周年の慶事をむかえ、記念事業として「瀬田町会の60年」と題して記念誌を発刊することに相成りました。

60年前誰が今日の変貌した町並みを予想したことでしょう。その転機は1964年(昭和39年)東京でアジア初のオリンピックが開催され、世界のアスリートによる戦いに感動をおぼえ、更に若者に夢と希望が与えられ、世界における日本を再認識させられました。この大会を迎えるにあたり、主要道路、環状八号、国道246号着工、拡張工事で住宅の移転を余儀なくされ他地域へ移住した家、これまでどの家庭も地下水を井戸で汲み上げ生活水として利用していたが、井戸枯れが起こり周辺住民にとって重要な問題であり水道を引く運動が展開されるなど、日常生活にも様々な影響を及ぼす事態となりました。昭和46年9月には町内の住所表示変更が実施され、瀬田1丁目～5丁目、玉川台1丁目・2丁目、上野毛4丁目と町名変更戸惑いを感じたこともありました。

移りゆく時の流れ、歴代の町会長はじめ役員は献身的かつ進取の気性を胸に秘め、わが町を愛し将来を案じ努力されてきました。特に将来の日本を担う若者が通う小学校、中学校が閑静な2丁目に造られ、特に瀬田小学校は町会全域と学区域とが同一であることは稀なことと聞いております。これも先人の深い洞察力の賜物と敬服いたしております。

現代社会は参画の時代といわれております。瀬田町会事業の一部をご紹介しますと、瀬田フラワーランドの集い、夏休み子供映画会、夏休みラジオ体操、敬老会、瀬田ふれあい運動会等年間を通じて活発に展開され、これらの行事への参加者も年々増えてきていることは喜ばしい限りであります。行事を通じて人の親睦の輪が少しずつ大きくなり、やがては共に生きることを顕彰され「ここに住んで良かった」と思える町を目指していきたいと思えます。今後益々のご理解ご協力をお願い申し上げ結びとさせていただきます。



祝 発刊

前瀬田町会長

大

塚

伊三夫

「瀬田町会の60年」の発刊にあたり、心よりお祝い申し上げます。

私は、昭和47年4月から平成19年3月まで、34年間町会長を務めさせていただきましたが、この間、瀬田の町は大きく変わりました。特に、少子高齢化と大家族の世帯が大きく減少したことは、町会の役割に大きな影響を及ぼしています。

大家族が普通だった頃、高齢者や小さいお子さんなど社会的弱者はご家庭でケアすることができましたが、今日では困難な状況となっています。また最近では、地球温暖化など環境問題への対応もあげられます。官公庁や企業を対象とした対策の議論は進んでいますが、不便な生活を強いられることになる一般家庭の対応は遅れています。

長寿社会では、自分が培ったキャリアを地域社会で活かせれば、充実した第二の人生を送ることが可能です。各ご家庭や個別の対応では困難で効果も限られますので、地域社会が一体となって対応策を講じることが重要になってきます。

安全・安心な町づくり、災害に強い町づくりには、地方自治の末端組織である町会の果たす役割はますます重要になり、社会からも大いに期待されることでしょう。

このたび刊行された「瀬田町会60年」の記念誌が、町会の歩みの検証、将来への課題・展望などのために大いに役立つものと信じておりますが、ご一読された地域の皆様には、ぜひ瀬田町会と関わりを持ち、これからを一緒に歩いてほしいと願っております。どうかよろしくお願いいたします。

最後に、私が町会長を無事に務めることができたのは、役員をはじめ町会の皆様のお蔭と感謝しております。今後も白井町会長のもと、ますますご活躍されることを祈念し、発刊のお祝いとさせていただきます。

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1942年	昭和17年	京西小学校二子玉川分教場が独立して、二子玉川国民学校となる。	社会 ・ポツダム宣言受諾 ・日本国憲法公布 ・ベビーブーム ・キャスリーン台風 ・輪タク登場 文化・スポーツ ・「サザエさん」連載 ・第一回日展 ・NHKのど自慢開始 流行歌 ・リンゴの歌 ・東京の花売り娘 ・星の流れに ・鐘の鳴る丘 ・山小舎の灯 映画 ・わが青春に悔なし ・安城家の舞踏会 ファッション ・リーゼント
1943年	昭和18年	二子玉川～溝口間の玉川電車を大井町線に切り替えた。 児童の集団疎開が開始された。国民学校3年生以上の児童。 ・世田谷では長野県、新潟県へ。食料や寒気と郷愁のつらい生活であった。	
1945年	昭和20年	学童の疎開先からの引き上げが行われた。 第7代任命区長、富田繁氏20年12／24～21年11／22	
1946年	昭和21年	玉川区設運動起こる。	
	21年?22年?	戦後、瀬田3丁目矢藤氏の敷地に米軍機が墜落した。 ・アメリカ人を目にした当時の人達は、体が長い（大きい）と思ったそうです。近所の大塚氏が外務省へ掛合い大変な騒ぎであった。	
1947年	昭和22年	東京都35区を22区に統合し各区に副区長を置く。 6・3制実施により、国民学校は小学校と改称し、新制中学が創設された。 玉川消防署が設置された。 臨時国勢調査、東京都人口5,000,777人、世田谷区89,094世帯、人口356,170人	

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1948年	昭和23年	町会廃止により、町会事務所は区の連絡事務所となる。(防犯協力会) 瀬田町会事務所は、瀬田4丁目、現在一松ラーメン屋の角にあった。 桜町中学校の一部と玉川中学校の一部を合併して瀬田中学校創立。 ・桜町中学校を深沢中学校と改称。	社会 ・帝銀事件 ・昭電疑獄 ・朝鮮戦争特需 ・警察予備隊 ・日米安全保障条約
1949年	昭和24年	玉電瀬田駅までの道路が悪く、雨の日は長靴を履いて電車に乗り、渋谷で短靴に履きかえた時代もあった。 都内の女子学童の2割～3割が頭にシラミをもっていた。 ・学校でD.D.T.（白い粉）を頭にかけてもらった。	文化・スポーツ ・初の総天然色映画 ・プロ野球2リーグ ・千代の山横綱
1950年	昭和25年	東京消防庁、火災専用電話、119番設定。 玉川支所庁舎落成(木造) 都内の全小学校に給食が開始された。 ・パンと牛乳(脱脂粉乳) 世田谷郵便局等々力分室（現玉川局）落成 日赤世田谷奉仕団の結成始まる。(翌年各地区の分団結成)	流行歌 ・異国の丘 ・青い山脈 ・長崎の鐘 ・上海帰りのリル
1951年	昭和26年	第1回瀬田町会奉仕会（敬老会） 玉川福祉事務所開設 第2回奉仕会(敬老会)	映画 ・晩春 ・羅生門 ファッション ・アロハシャツ

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1952年	昭和27年	第3回敬老会。 ・ 敬老会として現在57回と続く。	社会 ・ 血のメーデー事件 ・ 造船疑獄 ・ 自衛隊発足 ・ 神武景気
1953年	昭和28年	都、駒沢～瀬田間の放射4号(国道246号)道路を行政協定道路として建設のため測量に着手。 ・ 軍用道路なりとして、反対運動おこる。	文化・スポーツ ・ ラジオ「君の名は」 ・ テレビ放送開始 ・ 「紅白歌合戦」開始 ・ TV「お笑い三人組」
1954年	昭和29年	瀬田小学校が開校した。 ・ 設置が公示された2月25日を創立記念日になっている。 ・ 開校するに当たっては、荒れた土地であったため町内の人達が整地をし町ぐるみの学校ができた。土地は長崎行重氏の所有であった。 二子玉川園遊園地再開 玉川全円耕地整理組合が用賀中区耕地整理の登記を完了し、大正14年11月20日同組合設立以来30年ぶりで事業を完了した。 瀬田小学校校門前で「オロナイン軟膏」の試供品を貰う。…「横須賀氏談」	流行歌 ・ テネシーワルツ ・ 岸壁の母 ・ カスバの女 ・ 哀愁列車 映画 ・ 七人の侍 ・ ゴジラ ・ 夫婦善哉
1955年	昭和30年	砧ゴルフ場（現砧公園）オープン	ファッション
1956年	昭和31年	放射4号道路「駒沢～瀬田間」測量再開	・ 真知子巻き

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1958年	昭和33年	瀬田中学校用賀分校開校 瀬田小学校中町分校開校 東京タワー完成	社会 ・ 東京タワー ・ 関門トンネル ・ 伊勢湾台風
1959年	昭和34年	瀬田小学校中町分校、瀬田中学校用賀分校が夫々独立校となる。 瀬田3丁目大塚牧場、35年頃まで、目黒の森永乳業へ出荷した。 ・ 道が悪くて苦勞した。(大塚氏談) 「国民健康保健条例」公布(12月1日施行)	文化・スポーツ ・ 若乃花横綱 ・ チキンラーメン ・ カラーTV放送 ・ 東洋の魔女
1960年	昭和35年	東京の電話局番3けたになる。 10月3日 家庭福祉員世話人、櫛田ミツエ氏就任。	流行歌 ・ からたち日記 ・ 南国土佐をあとにして
1961年	昭和36年	10月共同募金、11月歳末助け合い ・ 金品の他に衣類等 多摩川中流のアユ漁場で汚水のため稚アユが大量に死んだ。 ・ 多摩川の二子橋下流でアユ、コイなど多数浮上。	・ 上を向いて歩こう ・ いつでも夢を テレビ ・ 月光仮面 ・ 少年ジェット ・ 鉄腕アトム ・ 鉄人28号
1962年	昭和37年	住居表示の方法を「街区方式」と決定する。 ・ 住居番号は一つの街区の東南の隅から、1.5mずつ時計廻りに番号をふり、家屋の入り口が当たった番号でさだめる。 5月16日 自衛隊、日赤合同で関東災害大演習会、多摩川河川にお	映画 ・ キューポラのある街

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1963年	昭和38年	いて行われる。 世田谷区議に角井豊吉氏、佐藤順氏。 ・瀬田町に二人の区議が選出された。 玉川第5自治会長、当番幹事、渡辺孝侑氏 6月27日 日赤無料巡回診療、町会事務所 町区域の改正と住居表示の作業開始。 オリンピックの前年につき環状8号線の工事進む。 ・拡張工事で夫々の家が移動した。 環八、246号線ができる。 オリンピックの事業で井戸水が枯れ始め水もまずくなった。 ・井戸の生活から水道を引く運動起こる。 七輪と石油コンロに変わり、ガスの生活に入った。 ・ガスを引く前は、七輪を使い燃料店から燃料を買い火をおこすのに新聞紙の上につけ木を乗せて炭に火を付けた。 ・ガス同盟を起こした。各戸積立制で係りが集金し権利を得た。	社会 ・黒四ダム完成 ・国鉄鶴見事故 ・狭山事件 文化・スポーツ ・栃ノ海横綱 流行歌 ・見上げてごらん夜の星を ・東京五輪音頭 ・高校三年生 ・浪曲子守唄 テレビ ・狼少年ケン ・伊賀の影丸
1964年	昭和39年	オリンピック東京大会世田谷協力会発足。 東急玉川線起工式（田園都市線）	

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1965年	昭和40年	4月20日 瀬田小学校10周年記念式典、体育館において。 5月26日 新潟地方大震災のため救援物資を募る。 世田谷ボロ市廃止と決定。(テキヤ進出のため) 瀬田町会厚生部、綿入れ、かいまき、掛布団、敷布団の制作講習会。(指導者・高橋ふとん店) 東京オリンピックに着用する浴衣縫い。 東京オリンピックに向け町会単位で踊り指導をうける。 オリンピック音頭、瀬田小学校で稽古する。 日赤婦人部、オリンピック準備。 ・駒沢大学前にテントを張り夫々活躍した。 6月4日 町会ゴミ容器ポリバケツ¥500の助成。 8月 第16回町内敬老会での余興(町会役員が出演、舞踊等) 玉川清掃事務所開設 世田谷ボロ市、地元町会が主催で復活。 ・区が援助、警察、消防機関が協力。 東急田園都市線、長津田まで延長開通。	社会 ・新潟地震 ・東海道新幹線 ・吉展ちゃん事件 ・ベ平連結成 文化・スポーツ ・東京五輪 ・シンザン三冠馬 ・平凡パンチ 流行歌 ・明日があるさ ・君だけを ・夜明けのうた ・学生時代 ・知床旅情 テレビ ・ひょっこりひょうたん島 ・逃亡者 ・オバケのQ太郎 映画 ・サウンドオブミュージック

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1966年	昭和41年	砧ゴルフ場跡をファミリーパークとして一般に開放。 町会親睦旅行、中津川溪谷へ、バス3台、弁当持参。 瀬田電話局（局番「700」）開局	社会 ・ イタイイタイ病 ・ 東大紛争 ・ 三億円事件 ・ 東名高速道路開通
1967年	昭和42年	5月 瀬田交差点歩道橋連絡会が発足。 11月15日 第一次歩道橋開通	文化・スポーツ ・ ビートルズ来日
1968年	昭和43年	東名高速、東京(用賀)～厚木間開通。 瀬田町会会長、山科芳一氏。	流行歌 ・ 君といつまでも ・ 霧の摩周湖
1969年	昭和44年	東急玉川線(渋谷～二子玉川)、砧線(二子玉川～砧) 廃止。 世田谷清掃工場が用賀に完成した。1日のゴミ焼却能力は900 t。 二子玉川に高島屋ショッピングセンターが開店した。 玉川町では、1.8mの水道管が破裂、4,000㎡が水びたしになり1万戸が断水。	・ ブルーシャトゥ ・ 黒ネコのタンゴ テレビ ・ おはなはん ・ 巨人の星
1970年	昭和45年	玉川通りに初のバス専用レーンが設置された。 老人休養ホーム（ふじみ荘）が開設された。 ・ 大浴場の給湯は世田谷清掃工場のゴミ焼却の余熱を供給している。 公害実態調査実施 光化学スモッグが発生、呼吸困難、手足のけいれん、はきけ、目、	・ 8時だよ！全員集合 ・ サザエさん ファッション ・ ミニスカート ・ ビキニ ・ パンスト

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1971年	昭和46年	のどの痛み等を訴える人がでる。 ブタ草(アメリカ原産) が空地に密生して花粉による鼻炎、ぜんそくなどを起こすので区では草刈条例を制定した。 夏休みラジオ体操はじまる。指導は瀬田体操クラブ。 瀬田1丁目～5丁目、玉川台1・2丁目が誕生し、区内の住居表示は総て完了した。9月1日をもって町内の住所が変わった。 学校給食用賀調理場が完成した。 ねずみ取りの薬配布。 首都高速道路3号線と東名高速道路が接続した。 二子玉川高島屋で競争馬30頭が売り出された。	社会 ・国産初人工衛星 ・光化学スモッグ ・大阪万博 ・よど号ハイジャック ・連合赤軍浅間山荘 文化・スポーツ ・札幌五輪 ・「an・an」 創刊 流行歌 ・白い蝶のサンバ ・わたしの城下町 ・瀬戸の花嫁 テレビ ・あしたのジョー ・ルパン3世 ・必殺仕掛人 ファッション ・Tシャツ ・ジーンズ ・ホットパンツ
1972年	昭和47年	瀬田町会会長、大塚伊三夫氏就任。 小、中学校の校庭開放開始。 健康区民運動として、毎月第3日曜日に裏通りのノーカー規制開始、瀬田4丁目（瘡守稲荷前の道路）平成12年廃止。 前町会長、山科芳一氏区議へ選出 12月1日 町会防火部による消火訓練。 ・瀬田2丁目ニュータモン裏手空地、4丁目大空閣寺前空地において。	

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1974年	昭和49年	瀬田の植木畑で過激派が隠したと思われる外国製の軽機関銃1丁、弾倉（1本36発入り）8本を中学生が発見。 1月14日 瀬田1丁目大平正芳宅火災 瀬田町会事務所を瀬田4丁目に移転。（通称、瀬田町会会館）	社会 ・ ロッキード事件 ・ 宮城県沖地震 文化・スポーツ ・ ウォークマン ・ インベーダーゲーム ・ ルービックキューブ
1976年	昭和51年	商店会主催の盆踊り大会に併せ写真コンクールを企画し、城南信用金庫瀬田支店で展示し、入賞者には賞品がでた。	流行歌 ・ 襟裳岬 ・ 北の宿から ・ およげ！たいやきくん ・ 勝手にシンドバッド ・ 昴 ・ 奥飛騨慕情
1977年	昭和52年	瀬田町会費、月額50円を30年にわたり守って来たが、経済困難の為月額100円に値上げ。5月より会員への弔慰金を1,000円→2,000円へ。	
1979年	昭和54年	4月 老人クラブとして瀬田寿会発足、初代会長に角井豊吉氏 6月の東京サミット（大平正芳首相）開催にあたり、警官約60名が行善寺本堂客殿にて寝泊り、待機1週間。	テレビ ・ 宇宙戦艦ヤマト ・ 3年B組金八先生
1980年	昭和55年	6月12日 大平首相心筋梗塞で逝去。 ・ 米大統領カーター氏弔問。瀬田町民献花、お見送りする。 9月1日 総合防災訓練 ・ 天理教玉瀬分教会で30名参加。参加者には乾パン・缶詰・米飯・状差し・防災の手引きが支給された。	映画 ・ スターウォーズ ファッション ・ 原宿竹の子族

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1981年	昭和56年	瀬田囃子研修生募集 ・会費月額1,500円、週2回。玉川神社社務所内において。 瀬田囃子保存会代表、中島信次氏 瀬田玉川神社総代、星谷英二氏 瀬田玉川神社氏子会会長、大塚伊三夫氏 11月 「パークアベニューショッピングセンター」開店（現、山河の湯） ・水戸徳川家敷跡、地元の人達が屋敷内の掃除を手伝ったが、敷地の広大さに驚いたそうです。 昭和56年度総会において、町会費年額1,200円を2,000円とする。 瀬田町会旗、新規購入。(株)キムラ美芸 （→表紙の写真） 3月30日 第5出張所、フロアー開設。 8月4日 町会事務所、瀬田4丁目22番17号から瀬田2丁目28番13号へ移転。 ・真夏の引越しは大変。	社会 ・東北新幹線 ・上越新幹線 ・ホテルニュージャパン ・テレホンカード ・500円硬貨 文化・スポーツ ・千代の富士横綱 ・窓ぎわのトットちゃん ・人間万事塞翁が丙午 流行歌 ・氷雨 テレビ ・笑っていいとも！ 映画 ・E T ・積み木ぐずし ファッション ・エアロビクス
1982年	昭和57年	6月30日 衛生部、殺虫剤（スミチオン乳剤）無料配布。 ・各班の幹事は容器（空瓶）を持参し各戸へ配布する。	

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1983年	昭和58年	9月12日 第32回敬老会 ・台風18号のため式典中止。雨の中、大塚金助副会長、藤本愛治衛生部長らが記念品を当番宅へ配る。 9月14日 瀬田4丁目2軒が水害に遭う。(治大夫堀沿い) 3月16日 春の火災予防運動週間が始まり、消火器の取扱い講習会が天理教玉瀬分教会、瀬田玉川神社、自動車無料点検所で行われた。 瀬田4丁目に在住、衆議院議員森喜朗文部大臣、瀬田小学校へ「切磋琢磨」額贈呈される。	社会 ・中国自動車道 ・日本海中部地震 ・ファミコン ・グリコ・森永事件 ・関越自動車道 ・つくば科学万博 ・NTT ・日本たばこ 文化・スポーツ ・東京ディズニーランド ・課長島耕作 流行歌 ・熱き心に テレビ ・おしん ・ニュースステーション
1984年	昭和59年	8月28日 参加しよう愛の献血、天理教玉瀬分教会境内 瀬田商店会青年部主催による、瀬田小学校プールで魚の掴み取り大会5年間ほど続く。 ・若者により、前夜多摩川上流にて魚を捕獲し、時には高津警察から事情を聞かれ始末書をだしたこともあった。	
1985年	昭和60年	2月26日 「瀬田音頭」 作詞・立花納子、作曲・田辺信一氏 2月 第5消防分団消防機材格納庫設置、瀬田4丁目瘡守稲荷角 9月25日 緑化推進運動苗木配布。1世帯1本、先着500本	

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1986年	昭和61年	9月14日 第36回敬老会 こひつじ園園児余興出演 11月15日 伊豆大島、三原山12年ぶりに噴火	社会 ・三原山大噴火 ・チェルノブイリ ・JR発足
1987年	昭和62年	11月3日 第1回瀬田運動会開催（町民参加） ・大会会長 大塚伊三夫、 実行委員長 白井常祥。 瀬田環八通りにアメリカ村出現 ・東名高速道路に入る際にある、ファーストフードレストラン。広い環八に面して、たっぷり取った敷地の中、アーリーアメリカンスタイルのしゃれた建物。向い側には住友スリーエム、京セラの近代建築。ここは東京ではなくカリフォルニアの何処かの町のようだと、テレビ・週刊誌を賑わせ全国に知られる処となった。	・携帯電話開始 ・リクルート事件 ・青函トンネル開通 ・瀬戸大橋開通 ・大韓航空機爆破事件 文化・スポーツ ・中野浩一10連覇 ・東京ドーム完成
1988年	昭和63年	3月19日 世田谷清掃工場の煙突が古くなり建て替えることとなり、カラーデザイン（今までの赤白模様）を一般公募した。周辺の環境に調和しフラッシュライト（高光度障害灯）を取り付ける方式にするには住民の署名をし運輸省航空局の許可を取る必要があり、小学生以上の署名をあつめた。 6月2日 ゴミゼロデー（5月30日のゴミの日美化清掃）が実施される。年1回の行事となる。	映画 ・極道の妻たち ・マルサの女 ・ラストエンペラー

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1989年	昭和64年 平成元年	7月18日 消防団発会式。「第五分団」 9月26日 瀬田玉川神社総代、氏子会会長の署名により10/15、10/16の大祭は天皇陛下御病氣御不礼の事あり歌舞音曲を慎み、神輿渡御、囃子、演芸等は取り止めのおふれあり。 11月19日 瀬田中学校創立40周年祝 1月4日 昭和天皇崩御。年号平成となる。 4月 8年ぶりに世田谷区議誕生、星谷知久平氏（星谷材木店社長。） 4月 瀬田交差点旧道の信号変更 ・横断歩道、並びに用賀方面への車直進が禁止。 9月17日 第39回敬老会 （参考写真 P29） ・余興で落語家柳家亀太郎、わかな保育園園児、瀬田寿会舞踊等	社会 ・昭和天皇崩御 ・消費税 3 %開始 ・天安門事件 ・坂本弁護士一家 ・ベルリンの壁撤去 ・第一回センター試験 ・湾岸戦争 テレビ ・チビまるこちゃん
1990年	平成2年	8月26日 屋外納涼映画会「風の又三郎」 ・朝日新聞社の協力によりフィルムを借りる。瀬田小学校の校庭で上映中に雨に遭い、中止となり後日体育館で行われた。映画会始まる。	

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1992年	平成4年	9月1日 防災の日 世田谷玉川第5出張所主催、多摩川兵庫島公園において防災訓練。 ・ポンプ車にて放水体験。 9月16日 第40回敬老会 ・この年から数え年70歳を満70歳へ 1月9日、10日、11日 3日間にわたり午後2時～午後7時頃の間瀬田1、2丁目付近で3件の誘拐未遂事件発生。 ・小学3、4年生の男女が被害、テレビ報道あり。 世田谷区立瀬田地区会館建設計画（瀬田4-18（155坪）） 5月、世田谷区主催第1回瀬田フラワーランドの集い開催。 （参考写真 P29） 9月1日 砧公園において合同防災訓練 ・訓練は大々的に行われた。宮沢首相もご来席。日光猿軍団も参加していたが、動物愛護団体からクレームがつき猿一行はそそくさとひきあげる。また、多摩川河川敷より自衛隊ヘリコプターで砧公園まで輸送訓練30名参加。約10分間乗った人の話では窓もなく怖かったが、貴重な体験だった。暑い一日でした。	社会 ・ディスコブーム ・都庁新宿副都心 ・雲仙普賢岳 ・東京佐川急便事件 ・山形新幹線開業 ・天皇訪中 ・学校完全週休二日制 ・カラオケBOX ・釧路沖地震 ・北海道南西沖地震 ・東京湾レインボーブリッジ ・EU発足 文化・スポーツ ・プロサッカーリーグ テレビ ・渡る世間は鬼ばかり ・クレヨンしんちゃん ファッション ・茶髪

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1993年	平成5年	9月12日 第43回敬老会 ・瀬田小学校体育館工事中に付き中学校体育館で式典が行われた。 分別ゴミの出し方等を、玉川清掃事務所婦人部会による、町会婦人部出演により、NHK教育テレビ撮影。後日放映された。	社会 ・関西新空港開港 ・国産初ロケットH2 ・松本サリン事件 ・阪神・淡路大震災 ・地下鉄サリン事件 ・O-157感染続出 ・消費税 5 % ・介護保険法成立
1994年	平成6年	2月 家庭ゴミの正しい分け方、出し方のチラシ及び都推奨のごみ袋の見本、各家庭へ1枚ずつ配布。(町会費納入世帯)、各班の理事が担当。 9月1日 防災の日、尾山台中学校で防災訓練 9月11日 第44回敬老会 瀬田中学校ブラスバンド部初参加。 11月1日 瀬田地区会館開設	文化・スポーツ ・長野冬季五輪 ・失楽園
1995年	平成7年	1月 阪神淡路大震災 5,000名以上の死者被災者多数 5月4日 瀬田3丁目天理教駐車場にて、防災訓練。 ・市民ポンプの使い方、指導受ける。50名参加。	テレビ ・ポケモン
1996年	平成8年	ゴミネット、からす防止作戦、玉川清掃事務所より指導。	ブーム ・プリクラ
1997年	平成9年	10月 第11回瀬田ふれあい運動会 (瀬田運動会を改める) 11月 瀬田パークアベニュー、山河の湯開店 ・瀬田の町に温泉が出る、徳川屋敷跡。	・たまごっち

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
1998年	平成10年	4月21日 防災教室 瀬田5丁目住宅展示場内 (参考写真 P30) ・起震車、三角巾、タンカ等の使い方指導をうける。50名参加。 5月23日・24日 瀬田町会主催 第7回フラワーランドの集い ・模擬店にて初めてモチつきを行い出来立てのモチに人気があり、好評。 春の交通安全週間につき、テント設置。 ・今年度より瀬田交差点脇より交番前へ。	社会 ・2000年問題 ・有珠山大噴火 ・三宅島大噴火 ・九州・沖縄サミット ・住基ネット開始 ・拉致被害者5人帰国 文化・スポーツ ・日韓サッカーワールドカップ
1999年	平成11年	瀬田5丁目、ふれあい小林さんの家、高齢者憩いの家開設。	
2000年	平成12年	7月29日30日 瀬田商店会主催盆踊り大会に模擬店出店、町会初めて参加。 9月15日 第50回敬老会 ・70歳以上申込890名、50回を記念して生花を飾った。 瀬田4丁目在住、森喜朗総理大臣誕生。	
2001年	平成13年	第51回敬老会 ・70歳以上申込者920名	
2002年	平成14年	1月26日～2月3日 町会事務所瀬田2-28-12へ移転。 区民の交通災害保険、平成14年3月で廃止。(世田谷区)	

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
2003年	平成15年	瀬田町会会員加入の知らせ、回覧にて広報、会員数2585世帯 6月 厚生部主催親睦旅行 ・磯子プリンスホテルにて昼食、ワールドサッカー試合が開催中で、ブラジルの選手が宿泊している情報があり、ちょっと興奮しました。 9月 第52回敬老会 ・今年より敬老者75歳以上になり申込613名 瀬田町会会員名簿無料配布 瀬田小学校50周年記念バザー 模擬店に参加 8月 夏休み映画会 瀬田中学校格技室で。 9月 第53回敬老会 瀬田中学校格技室で、615名申込 第12回フラワーランドの集い ・エフエム世田谷「世田谷通信」で放送された。 12月 世田谷区地域安全安心町作りの趣旨に伴い、町会防犯部を中心に100本ののぼり旗を作成 町中に雨風に負けずにはためいている5つの標語 「みんなで守ろうよ子供の安全」 「声かけよう笑顔であいさつ街の人」	社会 ・日本郵政公社発足 ・宮城県沖地震 ・十勝沖地震 文化・スポーツ ・朝青龍横綱

西 暦	年 号	瀬 田 の 歴 史	世 相
2004年	平成16年	「防犯は皆の注意とみんなの眼」 「街づくり安全、清潔、思いやり」 「守ろうよ私の好きな街だから」 11月3日 第18回瀬田ふれあい運動会 ・「都立深沢高等学校和太鼓の演奏」に感動。又新潟県中越地震義援金の募金箱設置。 12月13日 瀬田町会有志により、瀬田地区会館、町会事務所 2 箇所に新潟中越地震義援金箱設置。 ・合計¥90,981 日赤新潟県支部へ	社会 ・鳥インフルエンザ ・越大震災 ・イラク派遣 ・九州新幹線 ・韓流ブーム ・オレオレ詐欺
2005年	平成17年	町会行事参加者傷害保険加入（パートナー保険代行）	
2006年	平成18年	7月1日 学校協議会による、防災訓練。瀬田小学校で、町民参加 10月30日 第20回瀬田ふれあい運動会 （参考写真 P29） ・20回を記念して各種団体による仮装行列。町会も「桃太郎一座」を結成し、大塚町会長を先頭に入場行進した。桃太郎は会長、家来を引き連れてのお披露目です。	
2007年	平成19年	5月 大塚町会長退任、新会長白井常祥氏へ	

瀬田町会あれこれ

祭勇連

昭和54年発足、瀬田玉川神社大祭、神輿渡行等活躍。

風祭り

毎年9月1日、瀬田玉川神社で行われる農作物に暴風の被害がないように祈願する行事。農作業を休み村人達が集まって、氏神様におこもりをするなど簡易な祭り。

芝居小屋

戦前の話、現在日商岩井第2玉川台マンションの所は桜畑といわれ桜の名所で芝居小屋がかかった。

玉川閣

玉川神社の隣にあり芝居小屋がかかった。

マムシ沢

玉川病院坂下、杉山があり、卵から孵ったマムシの子がカラスから逃げる為一斉に杉の木に登る際に目玉が光っていてきれいだったそうです。蛍のようかしら。

第一遊園地

身延山別院の原っぱでレンゲ畑ホテルも飛び交う。夜になると食用蛙が鳴き、当時の子供達はその鳴き声にお化けが出ると騒いだそうです。ブランコ、スベリ台藤棚もあり、会社関係の人達が運動会等に利用した。

長島牧場

明治42年柳田産院牧場を静岡県出身の長島氏が引き継ぎ昭和19年まであった。戦時中男達は軍隊に入り、女の人しか残らず、人手が足りず神奈川県川崎の二子新地の奥諏訪へ移動した。当時乳牛45頭、朝鮮牛1頭。(瀬田4丁目長島氏談)

大塚牧場

昭和34、35年頃目黒の森永乳業へ出荷していた。当時道が悪くもたもたしていると、牛乳を盗み飲んだ人がいた。(瀬田3丁目大塚さん談)

念仏講

1784年天明3年頃よりはじまる。春と秋のお彼岸に農家の人達が集まり、念仏講をやる。現在瀬田5丁目大塚伊三夫氏宅と大塚秀雄氏宅で交互で行われている。明治時代はお地藏様(瀬田5丁目)の前で輪になって行った。(大塚伊三夫氏談) (参考写真 P28)

瀬田囃子

初めは、和歌ばやしと言った。徳川3代将軍家光に始まり、庶民に伝えた。葛飾（かさい）囃子、神田囃子、目黒囃子と在り、瀬田囃子は目黒囃子から成り立ち、明治30年頃より、野崎ベンゾウ氏が発起人で瀬田囃子が始まった。

音曲で、音符がなく口伝えで覚える、途中大東亜戦争が始まり消滅したが、終戦後新倉ヒデオ氏が復活した。一組5人囃子・笛1つ、鉦1つ、閉め太鼓2つ、大太鼓1つ、おくでん「歌が入る」

明治時代以前より玉川神社の祭礼に奉納する伝統芸能であり現在「瀬田囃子保存会」は世田谷の芸能文化団体として、承認された由緒ある芸能文化である。

シメ太鼓には、しんだいこと、流れだいこがある。瀬田5丁目大塚秀雄氏談。"

瘡守稲荷神社

武蔵風土記には単に稲荷神社とのみ載せられている。瘡守という独特の固有名詞は明治になってからの命名と考えられる。二子玉川の各料亭は鮎漁の客の休み処であったが、芸妓、娼妓の稼ぎ場所となり、次第に遊郭が増え瀬田村の若い衆たちの間に花柳病の患者が増え病治癒のため小祠の稲荷に瘡守という願いをこめて命名したものである。（豊田真佐男氏東京近世第三巻より抜粋）聞くところによると、多摩川の石を拾って稲荷神社に供え、病が治ったら石を戻し新しい石を供えた。

水洗トイレ

昭和23年～30年代頃汲み取り（バキュームカー）の前は各自で、月夜の晩に地主の肥溜めに捨てた。バキュームカー時代になると、汲み取り券の他に、お礼としてタバコ銭をやったりした。

汲み取りにより、その家の家族の病気を見つけた。（糖尿病等）

用賀に東条英機首相が在住の為最初に下水が引かれた。瀬田にもという話が起こり、瀬田小学校があるため、瀬田2丁目は一番最初に水洗トイレができた。

屋号と由来

深山	矢藤 勝寿氏 2丁目長崎氏の山林（現在小学校の場所）で山が深く奥まった所にあった。
孟宗家	矢藤さくえ氏 玉川台2丁目孟宗竹が繁っていた。
角屋	星谷 清氏 大山通りで角地であった。
根っこ坂	角井 良男氏 大きな木があり坂に面していた。
長上口仲通り	柳田 幸一氏 入り口が長い。
出店	瀬田5丁目柳田氏 酒、油、販売店が出張っていたから。
地藏米五郎	大塚米五郎氏（地藏よんちゃん）お地藏が側にあった。
目立てや	原島氏 鋸等の修理。
野崎村	瀬田2丁目、野崎氏
炭や	杉田 勝治氏、星谷 好三氏
正気屋	杉田 正子氏 酒

上の家	大塚伊三夫氏
下駄屋	杉田 寅吉氏
寺子屋	大塚 貞三郎氏 司書様
藤棚	長崎 幸雄氏
さん角	大塚喜多雄氏
寺前	吉岡 一季氏
本長	長崎 行重氏
合横丁	星谷 英二氏
とんちゃんの店	矢藤 留吉氏 染野タバコ店
やだれ	中島彦三郎氏 瀬田交差点より土地が低かった
のんこ	中島 信次氏
長崎長十郎	食糧を確保する為に梨の苗木を植え付けて長十郎梨と名を広めた。

瀬田町会歴代会長

初代	長崎行重	
戦前昭和16年～	石丸新次	
昭和17年	星谷仁三郎	
昭和20年	舟橋伝十郎	
昭和22年4月～30年3月	戦後初代 内田秀雄	防犯協力会
昭和30年4月～34年3月	角井豊吉	
昭和34年4月～36年3月	佐藤順	
昭和36年4月～38年3月	大久保勇次	
昭和38年4月～43年3月	渡辺孝侑	
昭和43年4月～47年3月	山科芳一	
昭和47年4月～平成19年3月	大塚伊三夫	
平成19年4月～	白井常祥	

写真に見る瀬田町会

写真提供

- ・ 内田 清
- ・ 大塚伊三夫
- ・ 大塚 勝利
- ・ 荻原 二郎
- ・ 西尾 光子
- ・ 山科 芳一
- ・ 吉岡 光章
- ・ 瀬田町会

(敬称略・順不同)

昭和22年の瀬田





平成3年の瀬田

昭和22年の瀬田

戦前の瀬田



昭和初期の
玉川神社例
大祭



昭和初期、瀬田に村会議員誕生



昭和15年、耕地整理起工式

念仏講

瀬田町会のイベント



瀬田ふれあい運動会（第20回）



瀬田フラワーランドの集い



敬老会

瀬田町会の活動



植樹式



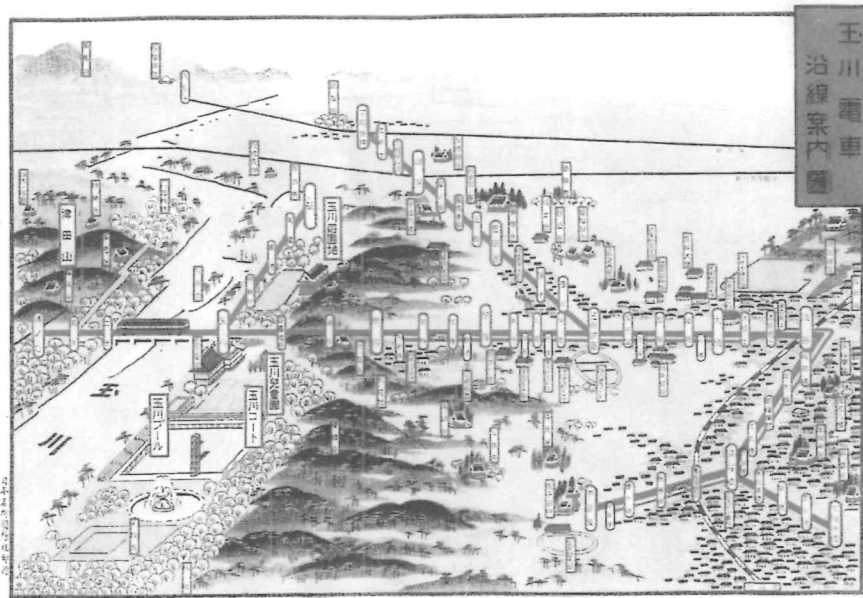
防災訓練



交通安全運動



玉電「瀬田」駅



玉川電車沿線案内図 大塚 藤利 所蔵



昭和36年玉電「瀬田」駅（渋谷方面）



昭和44年 玉電の「花電車」（玉川台付近）



昭和44年玉電「瀬田」駅（二子方面）

編集後記

瀬田町会は〈耳順〉の歳となりました。

記念誌の発刊にあたって、歴史観もなく、筆にも長けることなく、困難を極めました。

ただ、町会の皆様の生の声を多く取り上げ、地元の生活感を織り交ぜた手法で編集させていただきました。この記念誌が、これからの町づくりの参考、新しい展望への一助になることを期待しています。

なれない作業のため、誤記など訂正があるかもしれませんが、お詫びしお許しいただきたいと思います。

最後に、前町会長の大塚伊三夫氏のご尽力がなければ、この記念誌はできなかったことをお伝えして、ここにお届けいたしますので、ご一読いただければ幸いです。

編集委員

吉岡光章、白井常祥、渡辺俊雄、内田弘子
大塚澄子、矢藤康男、櫛田行雄、中村キヨ子

＊参考文献（資料）『新編武蔵風土記稿』
『世田谷近代史、せたがやの歴史』
『われらの玉川（玉川ライオンズクラブ）』
瀬田住民の声

瀬田町会の60年

平成20年5月発行

発行：瀬田町会
会長 白井常祥

編集：瀬田町会記念誌編集委員会